

# 目指すは全国三位以内！

▲集中して対局をする囲碁部員



## 囲碁部



今回のキマグレは、頭脳を駆使し全国の舞台でも活躍している囲碁部を紹介する。

毎年、近畿大会や全国大会で活躍している囲碁部。現任部員は3年生を含めて男子29人、女子12人の計41人で、主に木造校舎の被服室で活動している。普段は月曜日から金曜日の放課後に活動しているが、大会があるときは休日にも活動しているようだ。顧問の坂本秀誠先生が色々な大会に申し込んでくださるそう。月に1、2回は大会に出場している。活動は対局の練習が中心で、実戦練習を通して先輩が後輩に技術を教え、力を受け継いでいくという。対局後には坂本先生が対局を一つ選んでその対局の解説をされる。また空き時間には手筋や布石、詰碁などについての本を読んで勉強し、時間がある



速報新聞

キマグレ

発行所  
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号



▲部の様子を話す久保田さん（左）と濱田君

日にそれらに関するテストをするそうだ。囲碁部部長の久保田しずくさん（2-6）は部の雰囲気「対局中は全員集中して、真剣に取り組んでいる。ほかのときにはみんな仲が良く、アットホームな部活だ」と笑顔で話した。また意識していることを「部長としては部員が全国大会に向けて頑張れるようサポートしている。個人としては対局中に最後まで諦めないようにしている。負けそうな状況でも、次に活かすために考え続けるようにしている。また優勢な状況でも気を抜かないようにしている」と明かした。久保田さんは今後の目標を、個人としては

「楽しむときは楽しんで、練習をするときは真剣に取り組むこと」と、部全体としては「部員の一人ひとりが力をつけて全国で良い成績を収められるよう、切磋琢磨しながら頑張る、全国大会で3位以内に入ることを目標だ」とそれぞれ掲げた。

囲碁部副部長の濱田航輝君（2-6）は副部長として意識していることを「部長が生徒会の活動で忙しくまた部員数も多いので、周囲をよく見て行動しようと考えている」と挙げた。また副部長としての意気込みを「今後は部活の準備をスムーズにし、3年生に頼らずに部の運営をできるように務めたい」と明かした。濱田君は部員に向けて「練習を一日一日大切に、全国大会に向けて頑張っていきたいと思います」と呼びかけた。

坂本先生は生徒に指導するときの思いを「囲碁の楽しさを味わいながら練習してもらいたい」と思っている。囲碁を通して人間的に成長してほしい」と打ち明けた。

囲碁部は東鬼祭で対局についての説明を行う。囲碁の楽しさを知り興味を持ってもらうことを目的に、囲碁のルールを教えながら対局をする。